

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 13 年度から実施している統計調査であり、21 世紀の初年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の 2001 年（平成 13 年）1 月 10 日から同月 17 日の間及び同年 7 月 10 日から同月 17 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第 11 回調査における対象児の年齢は 11 歳（小学校 5 年生）である。

3 調査の時期

1 月生まれは平成 24 年 1 月 18 日、7 月生まれは平成 24 年 7 月 18 日とした。

（参考：第 1 回調査から第 6 回調査の 1 月生まれは 8 月 1 日、7 月生まれは 2 月 1 日である。）

4 調査事項

母の就業状況、同居者の状況、きょうだいの状況、身長・体重、間食の状況 等

5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	1月生まれ			7月生まれ			合計		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
第 1 回	26,620	23,423	88.0%	26,955	23,592	87.5%	53,575	47,015	87.8%
第 2 回	23,391	21,923	93.7%	23,575	22,002	93.3%	46,966	43,925	93.5%
第 3 回	23,374	21,365	91.4%	23,523	21,447	91.2%	46,897	42,812	91.3%
第 4 回	22,439	20,699	92.2%	22,398	20,860	93.1%	44,837	41,559	92.7%
第 5 回	21,735	19,824	91.2%	21,824	19,993	91.6%	43,559	39,817	91.4%
第 6 回	21,020	19,154	91.1%	21,167	19,383	91.6%	42,187	38,537	91.3%
第 7 回	20,182	18,304	90.7%	20,416	18,481	90.5%	40,598	36,785	90.6%
第 8 回	19,530	17,978	92.1%	19,731	18,158	92.0%	39,261	36,136	92.0%
第 9 回	18,865	17,480	92.7%	19,067	17,784	93.3%	37,932	35,264	93.0%
第 10 回	18,359	17,256	94.0%	18,630	16,868	90.5%	36,989	34,124	92.3%
第 11 回	17,948	16,426	91.5%	18,111	16,487	91.0%	36,059	32,913	91.3%

7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳（小学校1年生）
第8回調査	8歳（小学校2年生）
第9回調査	9歳（小学校3年生）
第10回調査	10歳（小学校4年生）
第11回調査	11歳（小学校5年生）

注：第7回調査（7歳）は、第6回調査（5歳6か月）から1年6か月後に実施した。